

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	国語		学年	第2学年
時間数	140	教科書	現代の国語2（三省堂）・新しい書写 一・二・三年（東京書籍）	
副教材	よくわかる国語の学習2（明治図書出版）・単元プリント 学習の達成 国語 2年（新学社）・新版 漢検級別対応パーフェクト常用漢字（第一学習社）			

学習目標	<p>1年次の学習内容を踏まえて、日常生活で使える国語力を養います。</p> <p>古文や漢詩に表れたものの見方や考え方に触れ、音読を通して古典を楽しむ姿勢を身に付けます。文学的文章や説明的文章の学習を通じて、社会生活に関わることについて考え目を広げます。様々な文章に触れることにより、的確に読み解く力や自分の考えを的確に書く力、述べる力を養います。漢字をはじめとする言語に関する学習を継続的に行い、実践的な言葉の力を高めます。</p>
学習方法	<p>教科書、ワーク、プリントを活用して学習を進めていきます。</p> <p>漢字や語句の意味、歴史的仮名遣いなどを個別に暗記するのではなく、本文の音読を繰り返して、文章の中で覚えていくことが大切ですから、積極的に音読に取り組みましょう。</p> <p>グループでの話し合いや発表を通して、それぞれの考えを尊重しながら課題を解決する活動を行います。</p>
評価仕方	<p>定期考査の成績、授業中の発言や姿勢、提出物への取組などから総合的に評価します。</p> <p>興味・関心・意欲の程度、話す能力や聞く能力、書く能力、読み取る能力、そして、言語に関する事項の理解度を分析し、総合的に評価します。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 学びの扉をひらく 情報を読み解く 視野を広げる ことばを磨く 言語事項	<p>詩に込められた思いや人と人の心の交流を捉えます。</p> <p>文章の構成に着目して筆者の意見を読み取ります。</p> <p>取材した筆者の思いをとらえます。</p> <p>短歌に込められた情景や心情を味わいます。</p> <p>用言の種類やその活用、書写を学習します。</p>
2学期 古典に学ぶ 分析的に考える 読みを深め合う 言語事項	<p>作品の世界を想像し、音読を通して古典の世界を楽しみます。</p> <p>表現の工夫に注意して、筆者の主張を読み取ります。</p> <p>詩に描かれた情景や、小説の登場人物の心情をとらえます。</p> <p>助詞・助動詞の種類や働き、書写を学習します。</p>
3学期 思いを伝える 古典に学ぶ つながりを考える 言語事項	<p>達人たちの言葉に表れたものの見方をとらえます。</p> <p>音読を通して、漢詩の世界を読み味わいます。</p> <p>登場人物の言動の意味を考え、内容を読み取ります。</p> <p>文法や書写を学習します。</p>

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	社会		学年	第2学年
時間数	105	教科書	新しい社会 地理（東京書籍）・新しい日本の歴史（育鵬社）・中学校社会科地図（帝国書院）	
副教材	アドバンス中学地理資料 愛媛県版（帝国書院）・学び考える歴史（浜島書店）			

学習目標	<p>（歴史的分野） 歴史への関心を高めるとともに、国や社会の向上に尽くした歴史上の人物や、日本の歴史や文化に深く関わっている諸外国の歴史や文化を尊重する態度を養います。</p> <p>（地理的分野） 日本の国土や世界の諸地域への関心を高め、地理的認識を養います。人間の営みと関連付けて地域的特色や地域の課題をとらえます。</p> <p>（歴史的分野・地理的分野共通） 様々な資料を活用して、社会的事象を多面的・多角的に考察し、表現する能力や態度を養います。</p>
学習の方法	<p>授業を中心に、教科書、資料集、地図帳を活用して学習内容を整理し、理解していきます。授業では、地理と歴史を交互に学習していきます。</p> <p>定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。長期休暇等に出される課題や、課題の確認テストで、学習内容の復習を繰り返し行います。</p>
評価の仕方	<p>授業へ参加する態度や、定期考査の点数、ノート作りや提出物の状況などを総合的に評価します。歴史や地理の学習に対して意欲的に取り組んでいるか、歴史や地理に関する知識が身に付いているか、資料から読み取ったり考えたりすることができるか、歴史や地理に関する事象について考え、自分の意見を表現できているか、といった観点で総合的な評価を行います。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 （歴史的分野）第3章 第1節 ヨーロッパとの出会い 第2節 信長・秀吉の全国統一 （地理的分野） 第1章 日本のすがた 第2章 世界から見た日本のすがた	ヨーロッパの大航海時代と宗教改革について学習した後で、日本の戦国時代から安土桃山時代について学習します。 世界から見た日本の特色について、様々な分野（自然環境、人口、資源・エネルギー、農林水産業、工業、商業など）を学習します。
2学期 （歴史的分野）第3章 第3節 江戸幕府の政治 第4節 産業・交通の発達 第5節 幕府政治の改革 （地理的分野） 第3章 日本の諸地域	江戸時代の政治や経済・文化等について学習します。 日本の各地方の特色ある事象を例に、各地方の地域的特色について学習します。
3学期 （地理的分野） 第4章 身近な地域の調査 （歴史的分野）第4章 第1節 欧米諸国の進出と幕末 第2節 明治・日本の国づくり 第3節 立憲国家日本	地域調査の行い方やレポートの書き方、地形図の活用方法について学習します。 江戸幕府が滅び、明治政府が行った様々な政治改革や憲法制定までの動きについて学習します。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	数学		学年	第2学年
時間数	79	教科書	未来へひろがる数学2（啓林館）	
副教材	未来へひろがる数学問題集2（啓林館）			

学習目標	1年生で学習した内容を基本として、関数や図形の性質などを見だし、発展させる力を養います。また、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道を立てて証明する力を身に付けます。さらに、自分の解答を全員に説明できる力を身に付け、コミュニケーションを通して学習活動を深化させていくことも目標としています。
学習	教科書を中心に進められる授業の内容を確実に理解しましょう。 教科書の練習問題や問題集を解くことで、日々の授業の復習を積み重ねることが大切です。分からない問題をそのままにしておくのではなく、先生や友達に質問してみましよう。また、問題集のB問題やC問題を解くことで応用力を身に付け、力を伸ばしていきましょう。定期考査でこれまでの授業内容を整理し、定着を図ることが重要です。
評価	定期考査の成績、提出物、授業に取り組む態度等を総合的に評価します。 日々の課題や週末課題などの提出物は、期日までに提出できているかどうか、しっかりと取り組んでいるかどうかを評価します。授業に取り組む態度は、教師の話を私語なくし、しっかり聞いているか、積極的に発表をしているか、ノートを丁寧に取っているか、意欲的に問題に取り組んでいるかなどが評価の対象です。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 1章 式の計算 2章 連立方程式 3章 一次関数	いくつかの文字を含んだ四則計算や簡単な等式の変形の仕方、文字を用いた式で数量の関係を捉え説明することを学習します。 連立方程式の解法を理解するとともに、実際の問題解決の場面で連立方程式を活用することを学習します。 一次関数の特徴を理解し、直線の式を求めたりグラフをかいたりするとともに、一次関数のグラフと連立方程式の解との関係を学習します。
2学期 4章 図形の調べ方 5章 図形の性質と証明 6章 確率	対頂角の性質や平行線と角の関係について調べるとともに、証明することの意義としくみ、三角形の合同条件を根拠にした証明の進め方について学習します。 直角三角形の合同条件を根拠にした証明や、平行四辺形、長方形等の様々な図形の性質について学習します。 確率の必要性と意味を理解するとともに、不確定な事象を捉え説明することを学習します。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	数学		学年	第2学年
時間数	26	教科書	未来へひろがる数学3（啓林館）	
副教材	未来へひろがる数学問題集3（啓林館）			

学習目標	1年生で学習した内容を基本として、関数や図形の性質などを見だし、発展させる力を養います。また、数学的な表現を用いて、根拠を明らかにし筋道を立てて証明する力を身に付けます。さらに、自分の解答を全員に説明できる力を身に付け、コミュニケーションを通して学習活動を深化させていくことも目標としています。
学習	教科書を中心に進められる授業の内容を確実に理解しましょう。 教科書の練習問題や問題集を解くことで、日々の授業の復習を積み重ねることが大切です。分からない問題をそのままにしておくのではなく、先生や友達に質問してみましよう。また、問題集のB問題やC問題を解くことで応用力を身に付け、力を伸ばしていきましょう。定期考査でこれまでの授業内容を整理し、定着を図ることが重要です。
評価	定期考査の成績、提出物、授業に取り組む態度等を総合的に評価します。 日々の課題や週末課題などの提出物は、期日までに提出できているかどうか、しっかりと取り組んでいるかどうかを評価します。授業に取り組む態度は、教師の話を私語なくし、しっかり聞いているか、積極的に発表をしているか、ノートを丁寧に取っているか、意欲的に問題に取り組んでいるかなどが評価の対象です。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
3学期 1章 式の展開と因数分解	文字を用いた簡単な多項式について、式の計算や因数分解ができるようにするとともに、目的に応じて式を変形することを学習します。
2章 平方根	数の平方根について理解し、数の概念の理解を一層深めるとともに、数を用いて物事を広く、深く考察・処理できるように学習します。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	理科		学年	第2学年
時間数	140	教科書	新しい科学 2（東京書籍）	
副教材	理科の完全学習2年（正進社）・確認から発展へ 理科2年（領域別シート付）（学宝社）			

学習目標	化学変化と原子・分子、動物の生活と生物の変遷、電気の世界、天気とその変化に関する事物・事象について学習します。日常生活と関連付けることで、これらの事物・事象への興味・関心を高め、観察・実験を通して科学的な見方や考え方を身に付けます。
学習の方法	○ 教科書を中心に、授業を進めていきます。 ○ 実験・観察を通して、実験・観察の技能、結果のまとめかたなども学びます。 ○ 定期考査で、自分の理解がどのくらい進んでいるか確認します。 ○ 長期休暇等で出される課題や、課題の確認テストで、学習内容の復習を繰り返していきます。
評価の仕方	授業へ参加する態度や、定期考査の点数、ノート作りや提出物の状況、実験・観察への取組方などを総合的に評価します。

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学 期	単元1 化学変化と原子・分子 第1章 物質のなり立ち 第2章 物質どうしの化学変化 第3章 酸素がかかわる化学変化 第4章 化学変化と物質の質量 第5章 化学変化とその利用	化学変化についての観察・実験を通して、物質の変化やその量的な関係について理解します。また、これらの事象を原子・分子のモデルと関連づける見方や考え方を学びます。
	単元2 動物の生活と生物の変遷 第1章 生物と細胞	生物のからだは細胞からできていることを、観察を通して理解します。また、動物のからだのつくりとはたらきを理解し、動物が分類できることなどを理解します。さらに、生物の変遷について理解します。
2 学 期	第2章 動物のからだのつくりとはたらき 第3章 動物の分類 第4章 生物の変遷と進化	電流回路についての観察・実験を通して、電流と電圧との関係および電流のはたらきについて理解します。また、静電気に関わる観察、実験を行い、静電気の基本的な性質を学びます。
	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界 第1章 静電気と電流	
3 学 期	単元3 天気とその変化 第1章 気象の観測 第2章 前線とまわりの天気の変化 第3章 大気の流れと日本の天気 第4章 雲のでき方と水蒸気	身近な場所で気象観測を継続的に行い、気象要素と天気の変化の関係を学びます。天気の変化が主として大気中の水の状態変化と大気の流れによって引き起こされることを理解します。日本の天気の特徴をとらえ、気象現象の起こるしくみと規則性について理解します。

備考	学習指導要領において学年内における学習内容の指導順序についての規定は削除されているので、季節的な影響を考慮して単元3と単元4の順序を変えています。
----	---

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	音楽		学年	第2学年
時間数	35	教科書	中学音楽 2・3上 音楽のおくりもの（教育出版）・中学器楽 音楽のおくりもの（教育出版）	
副教材	教科書の確認 音楽2・3上（創育・吉野教育図書）			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 楽典やソルフェージュなど基本的な知識を深め、表現の技能を伸ばします。 ○ 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞していきます。 ○ 友達と一緒に活動する中で響き合うことを楽しんだり、ともに創り上げる喜びを感じたりすることで、協力する心や認め合う気持ちを育てます。
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、ワーク、プリントを活用して授業を進めていきます。 ○ 表現活動（歌唱・器楽・創作）では、自分の思いを演奏や作品に込められるように、音楽を形作っている要素をとらえながら、曲にふさわしい表現を工夫しましょう。 ○ 鑑賞活動では、音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って、楽曲の背景にある文化・歴史を理解し、曲のよさをじっくり味わうことが大切です。
評価仕方	<p>以下のような視点で総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習状況（表現や鑑賞への取組の態度、定期考査、課題提出状況など） ○ 活動過程（姿勢・声量（音量）・演奏の技術や表現の工夫、練習状況など） ○ 発表（活動の成果） ○ 活動記録（自己評価表、鑑賞記録など）

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1 学期	<p>1 音楽の要素をとらえながら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の街 ・浜辺の歌 ・小フーガ ト短調 <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌詞の内容を味わい、言葉とリズムの関係や強弱を意識した歌唱表現技能を身に付けます。 ○ サミングの技法を習得と、美しい音色を奏するための姿勢・息のコントロールの方法など学習します。 ○ パイプオルガンの機能や仕組みを理解し、多彩な音色や旋律の重なり方などの特徴を感じ取るとともに、フーガの音楽構成や歴史的背景などを学習します。
2 学期	<p>2 歌い合わせ・聴き深める喜び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内合唱コンクール自由曲 ・星に願いを ・交響曲第5番ハ短調 <ul style="list-style-type: none"> ○ 声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して、表現を工夫します。旋律の重なり方や和音の響きを味わいながら、表現豊かな合唱を目指します。 ○ 派生音の運指に加え、サミング、ブレスや息のコントロール、タンギングの技能を身に付けて表現します。 ○ 動機のリズムや音楽の構成の仕方、楽曲の形式などを理解し、オーケストラの豊かな表現を鑑賞します。
3 学期	<p>3 様々な音楽文化ー日本と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少年式の合唱曲 ・歌舞伎「勸進帳」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 少年式・卒業式に向けて、式典にふさわしい歌唱方法について学習します。 ○ 音楽・舞踊・演劇が一体となって表現される歌舞伎について、その特徴や文化・歴史について学習します。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	美術		学年	第2学年
時間数	35	教科書	美術2・3上 学びの深まり・美術2・3下 美の探求（日本文教出版）	
副教材	標準美術Ⅱ（愛媛県教育会）・標準美術準拠 鑑賞シート2年（愛媛県教育会）			

学習目標	<p>1年次の学習を踏まえ、主体的に美術の活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を深めていきます。自らの考えを明確にし、対象を深く見つめ、感じ取る力や想像力を高め、自分の表現方法を追求していきます。</p> <p>また、様々な美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、よさや美しさを味わう鑑賞の能力を高めていきます。</p>
学習の方法	<p>教科書、副教材、プリントを活用して学習を進めていきます。</p> <p>実践的な学習を通し、対象を深く見つめ感じ取る力を一層高め、美術に対する知識、技能を深めていきます。また、鑑賞の時間を活用して様々な表現のよさ、作者の意図を考え、美術作品についての理解や見方を広げていきます。さらに、1年次で取り上げた内容にも振り返り、美術に対する知識、技能を確立していきます。</p>
評価の仕方	<p>期末考査、作品、提出物などを総合的に評価します。</p> <p>また、平常の制作への取組、美術への積極的な関心、意欲、態度も評価の対象とします。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期	<p>1 生活の中に美を生かそう（工業デザイン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身近なデザインを観察し、使いやすさ・よさの秘密を探っていきます。 ○ 形・素材・大きさなどの要素を踏まえ、私たちの生活をより豊かにする文房具を考えます。 ○ 自分の考えた文房具を文章や図を使ってまとめ、プレゼンテーションをします。 <p>2 生活の中に美を生かそう（視覚伝達デザイン）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見通しを持った制作をするために、ポスターの基本的な制作手順を学びます。 ○ 伝えたい内容を効果的に伝えるために、材料や用具の特性を生かし、イメージに合う表現方法を模索していきます。 ○ 機能・目的を理解し、使う人見る人を意識した作品を制作していきます。
2学期	<p>3 個性的に表そう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 彫刻の表現技法、制作手順を理解し、見通しを持って表現できるように学んでいきます。 ○ 自己の内面を深く見つめ、主題を明確にし、彫刻で表現していきます。 ○ 主題を基に想像力を働かせ、単純化や省略、強調などを考え、自分らしい表現を模索していきます。
3学期	<p>4 深く味わおう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ルネサンス以前の美術作品からルネサンス期の作品を鑑賞し、西洋美術作品の変化を学んでいきます。 ○ 琳派の作品を鑑賞し、日本美術の変遷や特質を学び、日本美術や伝統のよさを感じていきます。 ○ 琳派作品の構図の特徴などを学び、表現方法を工夫しながら屏風制作をしていきます。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成 29 年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	保健体育		学年	第 2 学年
時間数	105	教科書	中学校保健体育（学研）	
副教材	中学保健体育の学習 2（学研）			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができる。 ○ 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図ることができる。 ○ 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を持ち、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をすることができる。
学習の方法	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。
評価の仕方	学習の状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断」、「運動の技能」、「知識・理解」の四つの観点で評価します。具体的には、主に「出席」、「授業態度・取組方」、「実技テスト」、「記録」、「観戦記録（自己評価等）」により評価します。また、学年の成績は、上記の観点から評価した各学期の成績の平均とし、5段階法でも評定します。

		学習計画及び内容	
		単元	主な学習内容
1 学 期	体づくり運動		<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団走、隊形、体操、 ○ 各種の体力を高めるための運動 ○ 新体力テスト
	水泳		<ul style="list-style-type: none"> <自由形> ○ ストローク・キックの練習・ターン ○ 記録会
2 学 期	球技（ネット型）		<ul style="list-style-type: none"> <ソフトテニス> ○ ストローク、ロビング、サーブ・簡易ゲーム
	保健分野 健康と環境		<ol style="list-style-type: none"> 1 環境の変化と適応能力 2 快適な環境の条件 3 室内の空気の条件 4 水の利用と確保
3 学 期	体育理論		<ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツが体に及ぼす効果
	ダンス		<ul style="list-style-type: none"> ○ 創作ダンス・ソーラン節 ○ 各種の体力を高める運動
2 学 期	体づくり運動		<ul style="list-style-type: none"> <柔道> ○ 礼法、基本動作、受け身、投げ技、約束稽古
	武道		<ul style="list-style-type: none"> <ソフトボール> ○ ボール操作、バット操作、走塁、連携した守備
3 学 期	球技（ベースボール型）		<ol style="list-style-type: none"> 5 し尿・生活排水の処理 6 ゴミの処理 7 環境の汚染と保全
	保健分野 健康と環境		<ol style="list-style-type: none"> 2 スポーツと社会性
3 学 期	体育理論		<ul style="list-style-type: none"> <長距離走> ○ 自己に適したピッチとスライド ○ 呼吸法、記録会
	陸上競技		<ul style="list-style-type: none"> <長距離走> ○ 記録会
3 学 期	球技（ゴール型）		<ul style="list-style-type: none"> <バスケットボール> ○ ボール操作（ドリブル・パス・シュート） ○ 空間に走り込む動き・ゴール下の攻防 ○ 簡易ゲーム
	保健分野 傷害の防止		<ol style="list-style-type: none"> 1、2 傷害の原因と防止 3、4 交通事故の防止 5、6 応急手当の意義と基本
3 学 期	体育理論		<ol style="list-style-type: none"> 3 スポーツの安全な行い方
備考	特記事項なし。		

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭科（技術分野）		学年	第2学年
時間数	35	教科書	技術・家庭（技術分野）	
副教材	技術・家庭ノート 技術分野（開隆堂）			

学習目標	生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術との関わりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。
学習の方法	<p>1 技術と社会や環境との関わり、家庭の機能について理解を深め、生活をよりよくするための知識を学習する。</p> <p>2 実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。</p> <p>ア 道具や工具、機器を正しく扱い、適切に保守・管理ができる。</p> <p>イ 安全に製作活動ができるように留意する。</p> <p>3 班活動や男女の同作業を通して、互いに協力し合うことの大切さを学習する。</p>
評価の方	<p>観点別評価規準に基づいて評価する。</p> <p>○ 生活や技術への関心・意欲・態度</p> <p>○ 生活を工夫し創造する能力</p> <p>○ 生活の技能</p> <p>○ 生活や技術についての知識・理解</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 C 生物育成に関する技術 D 情報に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生物育成に適する条件と育成環境を管理する方法を知る。 ○ 生物育成に関する新しい技術について知る。 ○ 栽培記録を取り、植物の管理を適切に行う。 ○ コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。 ○ 情報機器が果たしている役割について考える。
2学期 D 情報に関する技術 B エネルギー変換に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ○ メディアの特徴と利用方法を知る。 ○ プレゼンテーションソフトウェアを用いて情報発信ができる。 ○ 電気エネルギーの変換や安全な利用について知る。
3学期 B エネルギー変換に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検ができる。 ○ 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検や事故防止ができる。 ○ 製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検ができる。

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	技術・家庭（家庭分野）		学年	第2学年
時間数	35	教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂）	
副教材	技術・家庭ノート 家庭分野（開隆堂）			

学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題を持って生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
学習の方法	<p>1 家庭の機能について理解を深め、生活をよりよくするための知識を学習する。</p> <p>2 実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。家庭での実践により知識と技術の定着を図る。</p> <p>3 班活動や作業を通して、互いに協力し合うことの大切さを学習する。</p> <p>4 生活をよりよくしようと課題を持って取り組む。</p>
評価の方	<p>観点別評価規準に基づいて評価する。</p> <p>○ 生活や技術への関心・意欲・態度</p> <p>○ 生活を工夫し創造する能力</p> <p>○ 生活の技能</p> <p>○ 生活や技術についての知識・理解</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
<p>1 学期</p> <p>C 衣生活・住生活と自立</p> <p>2 衣生活の自立</p> <p>(1) 日常着の活用</p> <p>(2) 布を用いた物の製作 被服実習</p>	<p>衣服と社会生活のかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫する力を付け、衣服の計画的な活用の必要性を学びます。</p> <p>布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫について考えます。</p>
<p>2 学期</p> <p>生活の課題と実践 被服実習</p> <p>(3) 日常着の手入れ</p>	<p>衣生活や住生活に関心をもち、課題を解消するための工夫において計画を立てて実践できるようにします。</p> <p>衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて学習します。</p>
<p>3 学期</p> <p>1 住生活の自立</p> <p>(1) 住まいのはたらき</p> <p>(2) 健康で安全な住まい</p> <p>(3) 住まいと地域 持続可能な社会をつくる</p>	<p>家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について学習します。</p> <p>家族の安全を考えた室内環境の整え方や快適な住まいについて学習します。</p>

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	英語		学年	第2学年
時間数	105	教科書	TOTAL ENGLISH 2（学校図書）	
副教材	ジョイフルワーク2（リスニングつき）（新学社）			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養います。 ○ 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めます。 ○ 英語を媒介として、日本とは異なる言語・文化・社会に対する理解や共感を深めます。
学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業では、単語のドリルや対話活動、音読を中心に基礎となる単語基本文の理解、習得をしていきます。 ○ 文法の学習に偏らず、よりオーセンティックな英語を習得することが大切です。年5回の定期考査ごとに学習内容をまとめ、ワークブックを活用して繰り返し練習することで基礎力の定着を図ります。
評価の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期考査及び日常の単語テスト、単元別テスト、準備物、提出物などを総合的に評価します。また、授業中の活動状況、授業態度についても評価の対象とします。

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期 Pre-Lesson Lesson 1 A Practice at a Sumo Stable Lesson 2 Gestures Lesson 3 Flight to the U.K.	<p>一般動詞の過去形を用いた英文、疑問文を中心に、1年生で学習したことを復習します。</p> <p>be 動詞の過去形を用いた英文、疑問文、S + V (be 動詞以外) + C (形容詞) の英文を中心に学習します。</p> <p>過去進行形を用いた英文、疑問文、接続詞 when を用いた複文、S + V + O (that 節) の英文を中心に学習します。</p> <p>未来表現 (will, be going to) を用いた英文、会話表現を中心に学習します。</p>
2学期 Lesson 4 Hiro in the U.K. Reading 1 Lesson 5 Career Experience Lesson 6 The 3Rs in Germany and Japan Reading 2	<p>助動詞 (shall, may, must, have to) を用いた表現を中心に学習します。</p> <p>言語としての英語について、様々な視点から書かれた英文を読みます。</p> <p>to 不定詞 (名詞、副詞、形容詞としての用法) を用いた英文を中心に学習します。</p> <p>動名詞を用いた英文、S + V + O + O の英文、疑問詞 why を用いた英文を中心に学習します。</p> <p>赤鬼と青鬼の友情をめぐる物語を読みます。</p>
3学期 Lesson 7 World Heritage Sites Lesson 8 Manga, Anime and Movies Reading 3	<p>形容詞の比較級と最上級を用いた英文を中心に学習します。</p> <p>同等比較、副詞の比較級と最上級を用いた英文、接続詞 if を用いた複文を中心に学習します。</p> <p>マザー・テレサの生い立ちと業績に関する伝記を読みます。</p>

備考	特記事項なし。
----	---------

平成29年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（前期課程）

教科	コミュニケーション		学年	第2学年
時間数	35	教科書	さくさくWriting 2年（浜島書店）	
副教材	なし			

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な言語活動に取り組みながら、英語を用いて聞き、話し、書く能力を高める。 ○ ALT とのティームティーチングにより個別指導に努め、より高い学習到達目標に向かって表現能力を高める。
学習の方法	<p>1セクションを3時間で指導します。①文構造の学習とエッセイの構成マッピング及び下書き②清書及びスピーチ発表練習③スピーチ発表という形態で進めます。ALT とのティームティーチングで、下書きの添削や発音指導等きめ細やかな指導を心掛けます。また少年式でのスピーチコンテストに向けて、代表生徒への指導も行います。</p>
評価の仕方	<p>授業への取組、エッセイの下書き、スピーチ発表、定期考査を評価の対象とします。</p>

学習計画及び内容	
単元	主な学習内容
1学期	<p>私の春休み ある日の中学生日記 夏休みの目標</p> <p>be 動詞と一般動詞の過去形を用いて、春休みの体験を書いて発表します。</p> <p>be 動詞と一般動詞の過去形、過去進行形を用いて、最近の一日を選んで書いて発表します。</p> <p>未来形、過去形、不定詞を用いて、夏休みの目標を書いて発表します。</p>
2学期	<p>理想の休日 日本の四季の楽しみ方 わが町の紹介 今、私がほしいもの</p> <p>未来形、過去形、不定詞を用いて、理想の休日について書いて発表します。</p> <p>一般動詞の過去形、接続詞 that を用いて、季節の過ごし方について書いて発表します。</p> <p>There is(are)～、接続詞 if、助動詞 can を用いて、お勧めの場所や行事について書いて発表します。</p> <p>不定詞、接続詞 if、when を用いて、自分のほしいものについて書いて発表します。</p>
3学期	<p>将来の夢 どちらの方がいいですか？ 一度は行ってみたいところ</p> <p>不定詞、接続詞 if、助動詞を用いて、将来の夢について書いて発表します。</p> <p>比較級、最上級を用いて、2つのものを比べて、自分の考えを書いて発表します。</p> <p>不定詞を用いて自分の行きたい場所や国について書いて発表します。</p>

備考	本校独自設定科目です。
----	-------------